

# 第9回情報論的学習理論（2006）のプログラム

2006年度プログラム委員会

第9回情報論的学習理論は、鈴木讓実行委員長（大阪大学）のご尽力により、2006年10月30日（火）から11月2日（木）まで、大阪大学中之島センターで開催されます。ご参加くださった皆様のご協力により、オーガナイズドセッション3件、特別講演2件、および一般講演40件のプログラムを作ることができました。

オーガナイズドセッションは、情報論的学習理論において重要性を増している分野として

- (1) 「確率モデルと集団最適化」 オーガナイザー：赤穂昭太郎（産総研）
- (2) 「自然言語とゲノム言語への統計的アプローチ」 オーガナイザー：浅井潔（東大）
- (3) 「複雑ネットワークのサイエンス」 オーガナイザー：林幸雄（北陸先端）

を選ばせていただきました。

また、特別講演は、より広い領域まで含めて急速に発展している分野から

- (1) 講演者 Heinz Muehlenbein (Fraunhofer Institut) 「Estimation of Distribution Algorithms and Induction」  
司会：麻生英樹（産総研）
- (2) 講演者 神谷之康（ATR）「脳情報復号化によるブレイン・マシン・インターフェース」 司会：沼尾正行（阪大）

を選ばせていただきました。

また、従来より、本ワークショップでは一般論文がたいへんハイレベルであると定評を頂いておりますが、今年度は、最前線で活躍されている研究者の皆様からのご投稿により、例年以上に優れた論文が多数発表されます。

このようなワークショップを開催できるのは、すべて、発表くださる方とご参加くださる方のご協力の賜物です。今後とも情報論的学習理論の発展にご協力くださいますようお願い申し上げます。